

北陸支部秋季講演会見学会御案内

つぎの通り来る 11 月 17 (木) 18 (金) の両日支部秋季講演会、見学会を日本金属学会北陸信越支部と共催のもとに開催いたしますから多数御参加下さるよう御案内申し上げます。

- 1. 講演会** 日時 昭和 35 年 11 月 17 日 (木) 900~17:00 会場 富山大学工学部 (高岡市古定塚)
- | No. | 講演開始時間 | 題 目 | 講 演 者 (○印) |
|-----|--------|--|------------------------------|
| | 9:00 | 開 会 の 挨 拶 | 日本鉄鋼協会北陸支部長 橋浦彦三 |
| 1 | 9:05 | 稀土類の鋼に対する効果に関する研究 | 東北工 田辺伊佐雄・○奥 孝一 |
| 2 | 9:25 | 超硬合金の硬度と抗折力との関係について | 不二越技研 ○蜂須賀武治・萩尾武彦 |
| 3 | 9:45 | 硬質鋼メッキの研究 | 不二越技研 若林幸雄・○森田四郎 |
| 4 | 10:05 | 析出硬化型不銹鋼の500度焼戻について | 金沢大理 ○竹村松男, 小松製作 木内宏一・篠田 勇 |
| | | 10 分 間 休 憩 | |
| 5 | 10:35 | 高炭素鋼の熔製における基礎的な現象について | 不二越技研 本多 孝 |
| 6 | 10:55 | ハーバート振子によるアルミニウム圧延板の方向性検出と深絞り
の際の耳の発生について (幻) | 北陸軽金属 池野尚志, 山梨大 財満鎮雄・○柴田喜三 |
| 7 | 11:15 | 65/35 黄銅の鑄造法を異にした円筒型鑄塊の性質について (幻) | 三越金属 鹿島茂隆 |
| 8 | 11:35 | 大型鑄造品の製作について (映) | 新潟鉄工新潟 大久保真三雄 |
| | | 昼 食 休 憩 | |
| 9 | 12:25 | 鑄鉄の熔湯におよぼすコークスの影響について (幻) | 富山大工 ○養田 実・平木道幸・高山藤一郎 |
| 10 | 12:45 | 鍛鋼品超音波探傷管理について (映) | 新潟鉄工新潟 田村啓治 |
| 11 | 13:05 | ポリビニール・アルコール溶液および水溶性焼入油の冷却曲線について | 不二越技研 大沢真澄・○山岸憲一郎・板本仁樹 |
| 12 | 13:25 | 各種鉄鉱石の電気製鉄炉内における還元の状況
(砂鉄の電気炉製鉄法に関する研究その1) | 呉羽製鉄 高井 清・佐藤祐一郎・○西藤文一 |
| 13 | 13:45 | 電気炉製鉄における還元過程に関する考案 | 呉羽製鉄 高井 清・佐藤祐一郎・○井沢 清 |
| 14 | 14:05 | 日本標準資料セロシリコンの製作経過について | 日本鋼管富山 米谷 清一 |
| 15 | 14:25 | 低塩基度製鉄における 2, 3 の実験 | 富山大工 工博 森棟隆弘・○平沢良介・佐藤恭一 |
| 16 | 14:40 | 粒鉄の顕微鏡組織について (幻) | 富山大工 工博 森棟隆弘・平沢良介・中山道子・○佐藤恭一 |
| 17 | 15:05 | MgO, CaS-Fe-Si 系還元反応の機構について | 富山大工 〃 池田 正夫 |
| 18 | 15:25 | 有機試薬抽出によるキレート定量法の応用
(第1報)(亜鉛鉱への応用) | 富山大工 瀬川安一郎・○新井甲一 |
| 19 | 15:40 | プラスモコリンズによる高ニッケルクロム鋼中の
カルシウムの光度定量 | 東北工 田辺伊佐雄・増山嘉男・○井波恒善 |
| 20 | 16:00 | 断続アークによるタンタル中不純物元素の定量分光分析法 | 日本曹達高岡 小田仲彬・○井戸原満 |
| 21 | 16:20 | 合金の真空溶融ガス分析法 | 〃 小田仲彬・片山上・○遠藤主計 |
| 22 | 16:40 | スポンジチタンの真空溶融ガス分析用試料の調整法 | 日本曹達高岡 小田仲彬・○片山 上・遠藤主計 |
| 23 | 17:00 | 含珪素物質中の炭化珪素珪酸および遊離珪素の
分別定量法について | 日本曹達高岡 小田仲彬・久保正二・○山岸忠彦 |
| | 17:20 | 閉 会 の 辞 | 富山大工 森棟隆弘 |

- 2. 見学会** 集合日時 昭和 35 年 11 月 18 日 (金) 午前 9 時 10 分 集合場所 高岡駅前
見学工場および時間

- | | | | |
|---|-------------|-------------|---------------------------|
| 1 | 9:20~10:00 | 帝国可鍛鑄鉄(株) | 鉄管, 継手その他 |
| 2 | 10:10~10:50 | (株) 老子 製作所 | 梵鐘, 工作機械 |
| 3 | 11:00~12:00 | 北陸軽金属工業(株) | アルミ瓦, アルミ厨房品 (昼 食) |
| 4 | 13:00~13:40 | 十条製紙(株)伏木工場 | 製紙 |
| 5 | 14:00~14:20 | 昭和製針(株) | 各種縫針 |
| | 14:30~16:30 | 永 芳 閣 | (休憩) 鯉網見学 (17:00 高岡駅にて解散) |

見学会費 バス及び中食代 200 円

- 3. 申込締切日** 昭和 35 年 10 月 31 日

氏名, 勤務先名, 職名, 見学会参加の有無を明記の上, 支部 (富山市石金 20 不二越鋼材工業株式会社技術研究所内・日本鉄鋼協会北陸支部) 宛お申込願います。なお見学会参加費は講会当日受付に納入して下さい。

第2回原子力研究総合発表会開催について

第2回原子力研究総合発表会が、明 36 年 2 月に本会ほか日本原子力学会など 26 学協会共催の下に開催されることになりました。研究発表を希望される方は下記要領お含みのうえお申込み下さい。

1. 開催時期 昭和 36 年 2 月 15 日(水)～18日(土)の4日間
 2. 場 所 神田学士会館(大集会室、北大食堂、南大食堂、中食堂)
 3. 共催学協会 本会ほか日本原子力学会など 26 団体
 4. 実施要領
 - (1) I 研究発表, II 討論会, III 招待および総合講演に分けて日程を編成する。
 - (2) 一般から募集するのは I 研究発表で、未発表の研究論文に限り予報的なもの、既発表に類似のもの、項目外のものは採らない。採否については論文選考委員会が決定する。
 - (3) 研究発表の時間は原則として 15 分とする。
 - (4) II 討論会, III 招待および総合講演は運営委員会内の小委員会で企画立案する。
 - (5) プログラムの編成については運営委員会がこれを決定する。
 - (6) 「要旨集」は発行するが、提出論文をまとめた「報文集」は刊行しない。
 5. 研究発表申込方法
 - (1) 研究発表希望者は、運営委員会宛申出れば、所定の研究発表申込書、「要旨集」原稿用紙、執筆規程を送ります。
 - (2) 研究発表申込書の受付は 10 月 15 日～10 月 29 日(土)(期限厳守)です。
 - (3) 「要旨集」原稿の提出は 11 月 19 日(土)までに必着で願います。
- 詳細のお問合せは、運営委員会(日本原子力学会気付)へお願いします。
日本原子力学会——東京都港区芝田村町1—1 日本原子力研究所内

第3回自動制御連合講演会開催について

さきに会告(第 46 年第 5 号)いたしました上記講演会が大阪市において開催されますのでお知らせいたします。多数会員の参加を希望いたします。

- 主催学会 応用物理学会、自動制御研究会、中部自動制御研究会、日本機械学会、日本計測学会、日本自動制御協会、日本繊維機械学会
- 参加学協会 化学工業協会、計装研究会、電気学会、電気通信学会、日本鉄鋼協会
- 日 時 昭和35年11月16日(水)、17日(木)、18日(金)、19日(土) 午前9時より 18 日(金) 午後1時より
特別講演会が開催されます。

特別講演プログラム

第1回国際自動制御会議における状況について

- | | | |
|-----------|------------------|--------------|
| 1・00～1・40 | 1. 自動制御理論 | 京都大学 榎 木 義 一 |
| 1・40～2・20 | 2. 自動制御要素 | 東京大学 大 島 康次郎 |
| 2・20～3・00 | 3. 自動制御の各種工業への応用 | 東京大学 寺 尾 満 |

学術講演会は第1部 自動制御理論、第2部 自動制御要素、第3部 自動制御の各種工業への応用の三部門に分れています。

- 会 場 大阪市大阪商工会議所(大阪市北区堂島西町2丁目)
- 前 刷 学術講演テキストとして第1, 2, 3 部門を一括集録した講演前刷を予約頒布いたします。
御希望の方は代金1冊 550円(送料とも)を10月30日までに下記宛申込んで下さい。(前刷りを会場で受取ることを希望される方はその旨を明記の上1冊 500円を払込んで下さい)会場にても即売します。

- 前刷申込先 京都市左京区山端一丁田町1 京都大学工学研究所修学院分室内
日 本 自 動 制 御 協 会